まちの話題

新 4年ぶり通常開催の金ケ崎マラソン
緑の金ケ崎路を満喫

第41回金ケ崎マラソン大会は6月4日、森山総合公園陸上競技場を発着点とする特設コースで開かれました。ハーフの復活や招待選手の参加など、4年ぶりに通常開催された同大会。ハーフ、10㎞、5㎞、2㎞の4部門30種目に県内外から計1,083人が参加し、ランナーは新緑の金ケ崎路を満喫しました。

2㎞の部に参加した菅原悠和（ゆうと）くん（永岡小2年）は、「疲れたけど、走りながら見る景色はきれいだった」と充実した表情を見せました。

4年ぶりの通常開催となり、多くの参加者が健脚を競い合った金ケ崎マラソン大会

高橋寛寿町長から記念品を受け取るツトミさん（中央）

祝 小澤ツトミさん長寿祝品贈呈式
100歳健康長寿祝う

小澤ツトミさん（高谷野）が6月1日、満100歳の誕生日を迎えました。ツトミさんは20歳のころに故・丈雄（たけお）さんと結婚。周囲の信頼も厚く、近所から裁縫を頼まれることもありました。活動的で85歳頃までゲートボールや花壇の手入れに汗を流したツトミさん。長寿の秘訣は好き嫌いなく食べること。この日は入所している特別養護老人ホーム友愛園で家族らから祝福を受け、「このように皆さんに祝福されて、ただただうれしい」と感謝を述べていました。

仲 金ケ崎中学校体育祭
間と団結しグラウンドで躍動

金ケ崎中学校の体育祭が5月13日、同中学校のグラウンドで行われました。ことしから観戦人数を制限せず開催された同体育祭。郷土芸能や徒競走、学年種目等のほか、各組団がグラウンドをいっぱいに使った個性あふれる応援を披露し、白熱した応援合戦を繰り広げました。

組団ごとに工夫を凝らした応援合戦を繰り広げた生徒たち

手を高く上げて横断歩道を渡る園児たち

道 金ケ崎保育園で交通安全指導教室
路横断時の安全確認を学ぶ

金ケ崎保育園で5月23日、交通安全指導教室が開かれました。交番署員や交通指導隊員らの指導で行われた同教室。4、5歳の園児45人が、道路横断時の注意事項などを学びました。さくら組（5歳児）の髙井悠斗（ゆうと）くんは「横断歩道を渡るときは手を上げて渡りたい」と力強く誓いました。

楽 健康ウオーキングで街地区を散策
しく歩いて健康づくり

健康ウオーキングが5月25日、街地区生涯教育センターを発着点に行われました。町内から17人が参加。この日は城内や諏訪小路地区を中心に約3㎞のコースを歩きました。小原ミナ子さん（下永沢第一）は、「普段見れない景色も見れた。楽しくて勉強になった」と笑顔を見せました。

景色を楽しみながらウオーキングする参加者たち

目の前で大量の土を運ぶ重機を見守る児童たち

重 永岡小学校でほ場整備の体験授業
機搭乗体験等でほ場整備学ぶ

ほ場整備の体験授業が6月1日、永岡小学校の児童を対象に開かれました。児童は、重機の搭乗やVR（仮想現実）での機械操作を体験。地元のほ場整備や建設業に触れました。若狭來希（わかさらいき）くん（6年）は「米が作られるまでにさまざまな工事の手間がかかることが分かった」と充実した表情を見せました。